

融通寺は来迎院村のひがしにあり、本尊は阿弥陀仏の坐像にして湛慶の作なり、開基良忍上人の像あり。〔当寺は融
通念仏の開祖なり、天治二年の頃洛陽に出て是を弘め給へり。融通といふは自称の念仏他の功德と成り、他は随喜して
是を修するに其功德又自に帰す、是自他不二平等融通す、不可思議広大の善功なりとぞ〕